

# 令和2年度 大田区立馬込第二小学校 学校経営方針と経営計画

校長 雨笠 常宣

## 生き生きとした学校

チーム馬込第二小  
地域力の活用

教職員

児童理解の徹底  
保護者との忌憚のない会話

子どもとの語りや一緒に遊ぶ

児童

学校生活が楽しい

地域

学校教育に対する協力

保護者

我が子が元気に学校に行く

## 教育目標

### ◎心豊かで思いやりのある子（今年度の重点目標）

自他の思いを考えられる子に育てたい。

自己肯定感をさらに高め、その根拠となる思いをもたせる。

成就感（分かった） 達成感（できた） 存在感（認められた）

### ○よく考え工夫する子

学力向上だけでなく

自己解決力（問題を解く手立てが考えられる子）

意欲力（言う気、やる気、確かめる気）

を高める。

### ○健康でたくましい子

体力テストの結果を児童自らが感じ、

自己の体力を高めようとする気持ちを育てる。

# 大田区教育委員会 おおた教育ビジョン 二年目

## 教育ビジョン

- I 社会の変化に主体的に対応し未来を創る力を育成する
- II 「知・徳・体」の調和のとれた成長を図り、豊かな人間性を涵養する。
- III 意欲あふれ、個性と可能性を最大限に伸ばす学びの場を創出する。
- IV 地域の特色を生かし、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもを育てる。

## 教育プラン

- 1 未来社会を創造的に生きる子どもの育成【未来】
- 2 学力の向上【知】
- 3 豊かな心の育成【徳】
- 4 体力の向上と健康の増進【体】
- 5 魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】
- 6 学校・家庭・地域が一体となって共に進める教育【学校・家庭・地域】

## これらのビジョン・プランを受けて

## 主体的な学びにむかって取り組む学習指導

### ◎校内研究

#### プログラミング教育に向けて

子どもたちの思考を、機械的な学びの習得ではなく、「なぜ」「どうして」という根拠を導き出すための方策を考えられる子に。

### ◎ 学習指導

学力の向上、特に基礎、基本の徹底とともに、活用する能力の向上にも努める。

そのためには、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力等を身に付けるための指導計画を立て、児童の意欲を高める授業づくり

学習スタンダードの確立

**学年ごとに系統性をもった学習姿勢を身に付けさせる。**

#### I C T機器の活用と指導計画

- ◎習熟の確認・・・タブレットによる確認テスト等
- ◎授業展開・・・デジタル教科書や書画カメラの活用
- ◎外国語・外国語活動での活用
- ◎その他

## 国語・算数は、他の教科の基礎ともなる

- 問題を解く手立てが考えられる・・・既習内容を活用させる学習指導
- ・習熟度別指導（算数）（少人数によるグループ指導）  
希望制による指導を原則として児童一人ひとりの実態に則して担任、学年、少人数担当が協議し、児童に確認をして適切な指導をする。
  - ・スパイラル的な指導  
言語活動（言葉、漢字、計算）は繰り返しの学習が必要  
(教育活動全体を通して指導をすすめる)
  - ・東京ベーシックドリルの活用  
卒業までに全員が4年生までの学力を付ける。  
1～4年生は、当該学年の診断テストの(三学期には)7割の習熟を80%身に付けさせる。  
目標達成のために、確認シートをもとに土曜日の補習や**夏季休業中に必要に応じて各児童に課題**として提供していく。
  - ・学習カルテを用いた保護者への理解（児童の実態）

## 学校生活は、集団生活が基本

### ◎ 生活指導・・・生命尊重を基軸とした人権尊重教育

様々な考えをもつ友達とどのように接していくか、各学年の発達段階を踏まえた指導をする。

## 生き生き度の測定（後頁参照）

- ◎17項目について「今」の状況を数値化して「最高に」「かなり」「とても」「まあまあ」「すこし」「ちょっと」の6段階に。  
昨年度の結果から各項目をみると・・・

**気になる(している・できている割合で最高値の項目では**

**64.4%ある中で、半分以下の(それに近い)割合)項目として**

- 「自分の気持ちを整理する力をもっている。」 30.9%
  - ・ **気持ちが落ち着かない**
  - ・ **イライラする**
- 「感じたことや考えたことを自分なりに表している」 34.3%
- 「自分の思いや考えを伝えることができる。」 37.5%
  - ・ **自分の考えに自信がない**
  - ・ **考えがまとまらない**

**良いところでは**

- ・ 協力し合い、友達と一緒に遊んでいる
- ・ 体を動かして遊ぶことを楽しんでいる
- ・ 栽培や飼育活動を通して生命の尊さに気付いている

- ・生活スタンダードの確立  
あいさつ、思いやり、感謝、奉仕  
早寝・早起き・朝ごはんの徹底  
学年または低・中・高学年での取組を考えていく。  
忘れ物“0”を目標
- ・安心、安全の徹底  
SNSルールの再確認（**学校ルール**→**家庭ルール**）  
怪我や事故も含め、教職員が危機意識をしっかりと持ち、児童が安全に過ごせるように努める。  
PTAの方々や地域の方との連携を密にして、地域での安全にも啓発をしていく。  
児童一人一人に対しても「自分の身は自分で守る」を念頭に交通安全、防犯、防災の指導を心掛ける。  
各家庭においても自身の子供だけでなく、身近にいる子に対しても我が子と同様に見守るように啓発をする。
- ・学校緊急メール配信システムの活用  
地域でのセキュリティー強化、学校からの緊急連絡等を配信。

## おおた教育ビジョンを意識した学年・学級経営

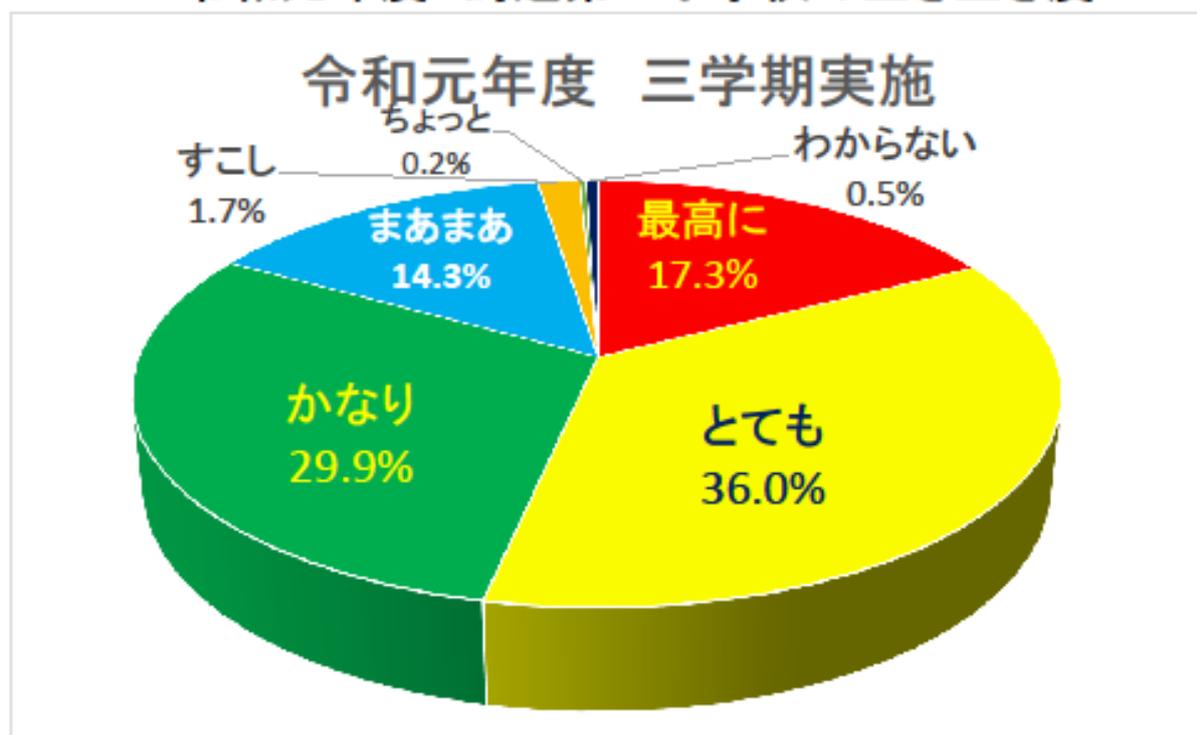
- ・コミュニケーション能力を高め、自分に自信がある子どもの育成  
互いを認め、自身の考えをしっかりと相手に伝えることができる子。  
あいさつは魔法の力  
コミュニケーションの第一歩
- ・学力向上  
スパイラル的な学習指導（どの教科でもできる）  
（既習事項の確認（レディネステスト等））
  - ◎既習内容の定着を図る授業作り
  - ◎知識・技能の習得
  - ◎思考力・判断力・表現力の育成
  - ◎学びに向かう力を身に付ける
- ・豊かな心を育む  
思いやる心、敬う心を育てる。
- ・体力向上  
年に2回の体力テストを実施  
自分の弱いところを認識させる。

- ・教育環境向上
  - 教員の指導力の向上(主体的、対話的で深い学びの指導)
  - I C T環境の整備
  - 特別支援教育の充実
  - 安心・安全の向上
  
- ・家庭・地域の教育力向上
  - 学校での児童の実態を知らせる。
  - 学習カルテ、個人面談、日頃の単元末テストの結果
  - 読書の推進・・・こうまクラブの活用
  - 東京オリンピック・パラリンピックの教育
  - 地域のスポーツ団体の活用
  - 環境美化の推進
  - みどりのボランティアの活用
  - 人権の花運動の推進
  - 美化委員会とみどりのボランティアとの花壇の手入れ

## 全教職員が特別支援教育を意識した学年・学級経営

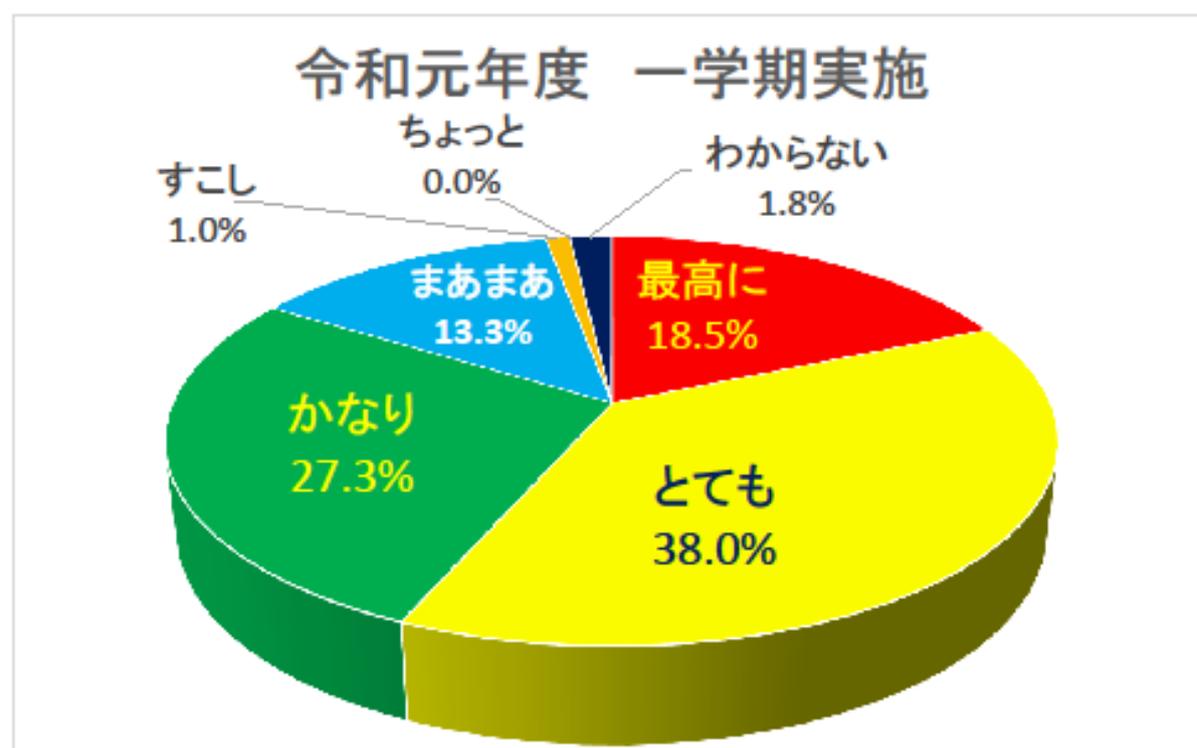
- ◎ 特別支援学級への理解と連携
  - ・各学年・学級との交流の中で児童同士のかかわりを深める。
  - ・教員間での連携、保護者との連携
- ◎ 特別支援教室への理解と対応
  - ・個別に指導を要する児童に対して、個々の適性にあった指導をすすめる。
  - ・自立への支援
    - 対象児童の実態を特別支援コーディネータとともに関係機関を含めたケース会議を実施して検討していく。
    - 単に学習の遅れを補うものではないことを確認する。
    - 担任と巡回指導教員、専門員との連携

## 令和元年度 馬込第二小学校の生き生き度



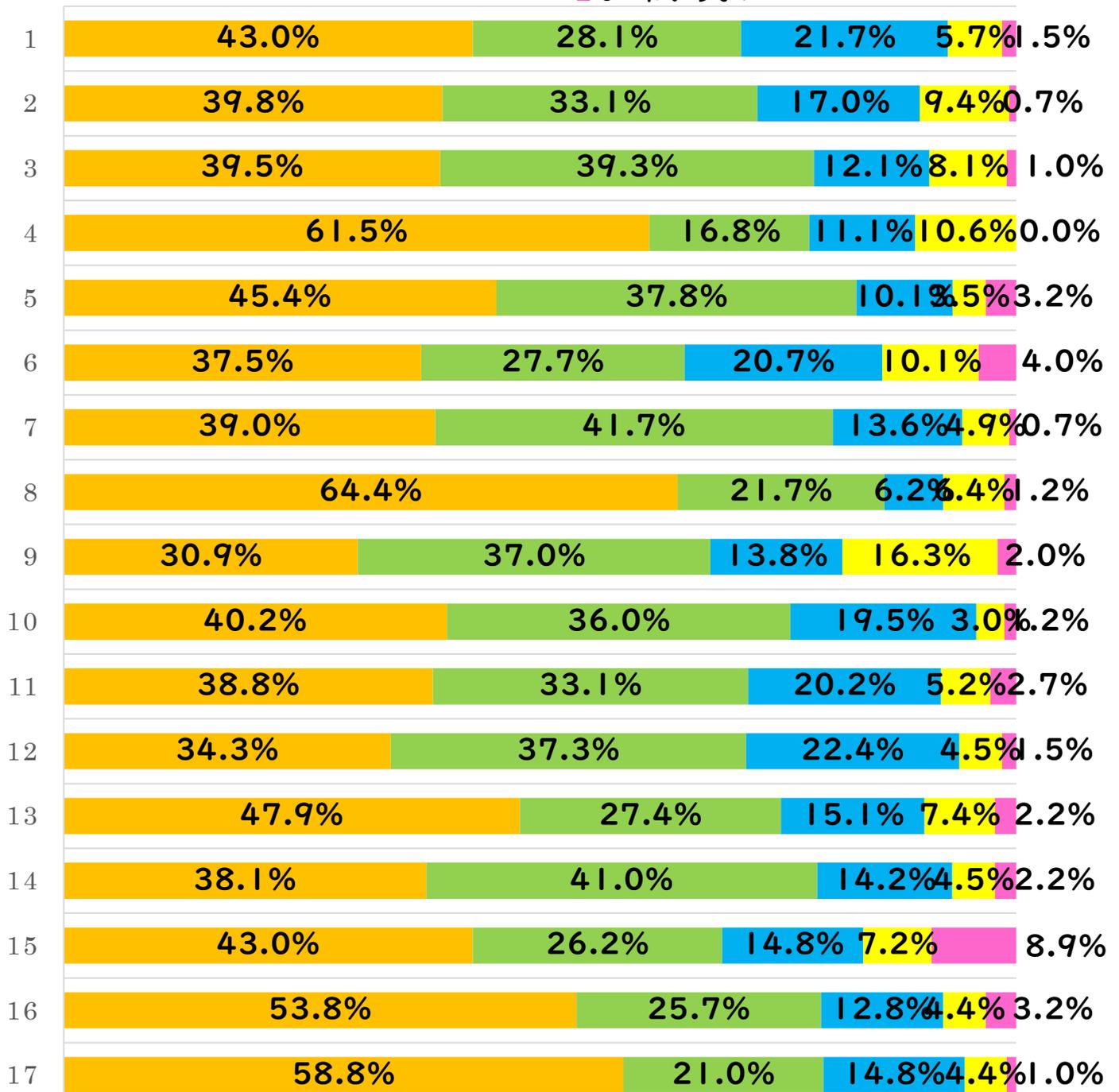
	一学期	三学期
最高に		
とても	83.9%	83.2%
かなり		

	一学期	三学期
まあまあ		
すこし	14.3%	16.3%
ちょっと		
わからない	1.8%	0.5%



# 令和元年度 生き生き度 項目別割合

- 4 している・できている
- 3 しているほう・できているほう
- 2 あまりしていない・あまりできていない
- 1 していない・できていない
- 0 わからない



- 1 いつも、早寝・早起き・朝ご飯を行っています。
- 2 元気にあいさつや返事をしています。
- 3 自分の力で行動しようとしています。
- 4 体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。
- 5 勉強や遊びを最後まであきらめないでやろうとしています。
- 6 自分の思いや考えを伝えることができます。
- 7 相手の思いを考えようとしています。
- 8 協力し合い、友達と一緒に遊んでいます。
- 9 自分の気持ちを整理する力をもっています。
- 10 約束や決まりを理解し、守っています。

- 11 地域の人とのかかわりを大事にしています。
- 12 感じたことや考えたことを自分なりに表しています。
- 13 絵本や物語に親しみ、想像する楽しさを味わっています。
- 14 美しいものや心を動かす出来事に触れ、感じる心やイメージを大事にしています。
- 15 遊びや生活に必要な言葉を知り、状況に応じて使います。
- 16 身近な環境にかかわり、発見を楽しんだり考えたりしています。
- 17 栽培や飼育活動を通して生命の尊さに気付きます。